

1. 講師紹介

平成26年（2014年）度入庁後、企画財政部情報政策課（現・総務部総務課情報政策担当）に配属され、2年前に現在の環境福祉部市民課への異動を経験。

担当は住民基本台帳およびマイナンバーではあるが、市民課におけるシステム全般と人口統計データ・人口移動調査も取り扱っている。

2. オープンデータ化の現状

平成27年（2015年）度の途中から人口統計データのオープンデータ化に取り組み、年度開始の4月まで遡って対応している。

人口統計データ（現在の三好市ウェブサイト内のダウンロード用ファイル構成）

- ・人口移動調査表（PDF）
- ・人口移動調査表（CSV）
- ・年齢別人口集計表（PDF）
- ・年齢別人口集計表（CSV）
- ・行政区別人口世帯集計表（PDF）
- ・行政区別人口世帯集計表（CSV）
- ・住所地別人口世帯集計表（PDF）
- ・住所地別人口世帯集計表（CSV）
- ・行政区別年齢別人口集計表（CSV）
- ・住所地別年齢別人口集計表（CSV）

（三好市ウェブサイトより抜粋）

三好市のオープンデータを利用の際は、以下の点にご注意頂いた上でご利用ください。

本ページに掲載しているデータは、



クリエイティブ・コモンズライセンスの下に提供されて

います。

本ページに掲載しているデータは、自由に利用・改変できます。

本ページに掲載しているデータを元に、2次著作物を自由に作成可能です。

本ページに掲載しているデータを元に作成したものについて、本市のデータを利用している旨を表示願います。

本ページに掲載しているデータを元に作成したものについて、このページ（URLを入れる）へのリンクの掲載をお願いします。

本ページに掲載しているデータの利用によって生じた損害について、本市は一切の責任を負いません。

社会増減（転入・転出・差引増減）、自然増減（出生・死亡・差引増減）、その他増減（職権記載等・職権消除等・差引増減）と人口（男・女・総数）、世帯数のクロス集計表

・年齢別人口集計表（CSV）

日本人＋外国人、年齢毎、男女別・計の集計表

・行政区別人口世帯集計表（CSV）

日本人・外国人毎、行政区毎、世帯数・男女別・計のクロス集計表

・住所地別人口世帯集計表（CSV）

日本人・外国人毎、大字毎、世帯数・男女別・計のクロス集計表

・行政区別年齢別人口集計表（CSV）

日本人＋外国人、行政区毎、年齢毎、男女別・計のクロス集計表

・住所地別年齢別人口集計表（CSV）

日本人＋外国人、大字毎、年齢毎、男女別・計のクロス集計表

3. オープンデータ化に至った経緯

「ICTの利活用による地域活性化」を基本理念とする「三好市地域情報化計画」（平成27年3月策定）を企画立案する中で、施策としてオープンデータ化の推進を位置づけ、情報政策課（当時）から市民課へアプローチを行い、手始めに人口統計データから取り組んだ経緯がある。

1－3

施策	オープンデータ化の推進
主管（関連）	情報政策課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問6－1）から、本市内からの必要な情報として「市の経済・産業に関する情報」「市の統計・調査に関する情報」といった意見と（問8－1）から、充実していくべき情報化の分野について「情報公開の推進」といった意見と（問8－2）から、情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「適切で信頼性の高い情報提供を行う」といった意見があります。
関連施策	1－5、2－4、3－1、3－3、4－1
内容	公共データを二次利用可能な形で提供することにより、市場における編集、加工、分析等の各段階を通じて、様々な新ビジネスの創出や企業活動の効率化等が促されます。本市の保有する公共データの利活用環境整備を目的にオープンデータ化に取り組み、行政の透明性・信頼性の向上、市民参加・官民共同の推進、経済の活性化・行政の効率化が三位一体で進み、地域活性化に繋がるように推進していきます。

4. オープンデータ化による事務作業軽減メリット

①外部的事務作業の軽減

マスメディア（新聞、テレビ局等）および調査会社からの人口統計データに対する質問・回答に対する業務負担の軽減。

回答例：「三好市では、オープンデータ化に取り組み、加工可能な形式でウェブサイトにて提供しています。趣旨をご理解・ご協力いただき、自由に活用して頂きますようお願いいたします。」

②内部的事務作業の軽減

- ・人口統計データを活用した取り組み等

企画財政部地方創生推進課：地域毎の過疎化率の推移

産業観光部商工政策課：企業誘致等に向けた地域毎の人口推移

- ・年齢条件による調査等

環境福祉部長寿・障害福祉課：高齢化率の推移、百寿到達者（見込）の祝金の算定
教育委員会生涯学習・スポーツ振興課：成人年齢到達者（見込）の算定

- ・合併以降の行政区（自治会）毎による集計の簡略化

総務部秘書人事課：市報みよしの配布

環境福祉部地域福祉課：民生委員の担当区域設定

総務部総務課：自治会加入人数の把握

行政区（自治会）の数	三好市	4 5 2
	三野町	6 8
	井川町	6 5
	池田町	1 9 0
	山城町	4 9
	西祖谷山村	3 6
	東祖谷	4 4

5. まとめ

- ・出来ることから無理なく始めることが重要。

（三好市の場合、既存住基システムから出力するデータをそのまま活用することにより、データを様式に合わせて加工・PDF化するよりも作業は簡単。）

- ・原課作業負担を軽減でき、公開されたデータを2次著作物として自由に作成できるので、利用者にとっても「Win-Win」。

（三好市の場合、原課で出来ることは極力原課で対応する方針の下、ヘルプではなくサポートの視点でICTリテラシーおよび組織連携が向上。）

ご清聴、有り難うございました。